

経営課題3 施策を実現するための仕組みの推進

(めざすべき将来像)

一人一人の教職員が自律性を備えた人材としてその能力を高め、教育活動で専門性を十分発揮するとともに、学校園が組織としての自主性・自律性を高め、特色ある教育実践を展開することにより、学校園が子どもたちの活気あふれる場となる状態をめざす。

戦略3－1 学校の活性化

＜取り組む内容＞

学校園での取組が組織的・継続的に改善できるような仕組みを構築し、学校園が子どもたちの活気にあふれる場となるように、一人一人の教職員がその持てる能力を発揮できる環境の整備、さらには、学校園が組織としての自主性・自立性を高め、特色ある教育実践を展開できるようにしていく。

また、学校の配置や規模における教育環境の最適化など、今後の人口減少、特に児童生徒の減少を見据えつつ、将来にわたって、安定した教育活動が進められるよう、持続可能な教育環境の改善を図るための取組を進める。

＜戦略（取組の方向性）＞

各校において独自の創意のある教育実践が取り組まれるよう、校長によるマネジメント体制や校長・教頭を支援する仕組みの強化を図るとともに、教職員の子どもと向き合う時間が増えるよう、ＩＣＴの活用や外部人材の導入などにより校務負担の軽減を進める。

学校で特色ある教育実践が展開されるよう、学校施設の整備や学校配置の適正化などにより安心・安全・良好な教育環境の整備を進める。

1 局運営方針に掲げた具体的取組の状況等

(1) 具体的取組の達成状況

3-1-1 分権型教育行政システムによる学校マネジメントの支援

【取組内容・実績】

区担当教育次長は、区内の学校園や地域の実態を把握し、安全で安心できる教育環境の実現や、学力・体力の向上などの教育課題を解決するため、学校園の支援を行う。さらに、よりきめ細かくかつ的確に学校を支援するために、教育委員会事務局の体制整備を図りながら、本市を4つの教育ブロックに分け、それぞれに担当指導主事等を配置することで、各学校の状況を詳細に把握し、学力・体力の向上や安全・安心な学校づくりに向け、学校の実情に応じた支援策を推進する。

- ・保護者、区民等の教育に関連するニーズや学校の状況の把握
- ・学校協議会の運営の補佐
- ・校園長の人事に関する意見
- ・学校との防災・減災に関する情報の共有及び学校等と連携した取組の実施
- ・「ブロック化による学校支援事業」等による学校の実情に応じたきめ細かなサポート
- ・学校施策評価による学校の目標(指標)の達成状況及び取組の評価
- ・各事業の実施(各区の特徴的な事業)

教育活動サポート事業、学力アップアシスト事業、学習意欲向上事業、教育力向上支援事業、子どもの体力向上支援、小学生運動能力向上支援事業、小学生サポート事業、グローバル人材育成事業、不登校児などの相談支援事業、ゲストティーチャー派遣事業、鑑賞教育事業、プログラミング教育支援事業、民間事業者を活用した課外I学習支援事業、夢・未来創造事業、こどもサポートネット事業、スクールボランティア支援事業 等

業績目標		令和2年度実績	令和3年度実績
各区が実施した事業について、設定した指標が「達成した(概ね達成した)」と回答する区の割合 80%以上		95.8%	95.8%
課題	改善策		
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校協議会などが書面での開催となり、学校行事の保護者参観や地域と連携したイベントが中止となるなど、学校を核とした住民主体の学校支援・教育コミュニティの形成が難しい状況である。 ・取組全体としては区が学校、地域の実情に応じた学校教育支援を行っているといえるが、地域人材活用等にかかる支援において学校への支援が十分ではないとの意見がある。 ・引き続き担当指導主事が各学校に応じた指導・支援を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の状況や学校の教育活動の状況も踏まえながら、安全に実施できる事業計画を検討し、適宜意見・ニーズ把握を行なながら実行していく。 ・区ホームページ等を活用し、地域人材活用等に関する支援が充実するよう取組を進めていく。 ・各教育ブロック内の学校の状況に応じたきめ細かな支援ができるように、担当指導主事等が学校訪問等で各学校の詳細な情報・ニーズの把握に努めていく。 		

3-1-2 校園長によるマネジメントの強化

【取組内容・実績】

各校で校長がリーダーシップを発揮し、独自の創意のある教育実践が取り組まれるよう、校長経営戦略支援予算等の制度を適正に執行するとともに、学校の課題・特性に応じて校長・教頭を補佐する体制の構築・強化を図った。

- ・校長経営戦略支援予算の基本配付 全校
- ・高等学校への校長経営戦略支援予算の加算配付 計8校
- ・校長経営戦略支援予算の区担当教育次長執行枠 全区
- ・副校长の配置 小中学校計32校
- ・教頭補佐（首席）の配置 小学校31校、中学校15校
- ・教頭補助の配置 小中学校計72校

業績目標		令和2年度実績	令和3年度実績
校長経営戦略支援予算により実施した取組の年度目標を達成した学校の割合 90%以上		96.0%	92.1%
課題	改善策		
<ul style="list-style-type: none"> ・校長経営戦略支援予算において、各学校・区の取組が迅速かつ適正に実行できるよう、予算管理や調達業務等の各種事務手続について、引き続き助言・調整等を行う必要がある。 ・教頭の欠員が生じるまでに至っておらず、受験者数について一定回復しているものの、適性な競争選考を行うにはまだ十分とはいえない状況である。 ・校長が十分にリーダーシップを発揮し、学校の取組の改善・充実を図るために、カリキュラム・マネジメントの実現に向けた支援を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営支援センター・調達担当部署等の関係先と連携し、通知文書の更なる改善など、各学校・区の取組の実施に係る支援を随時行っていく。 ・国の加配の活用と合わせて副校长・教頭補佐（首席）・教頭補助の配置を引き続き講じていく。 ・カリキュラム・マネジメントについての各学校の先進的な取組の情報を発信するとともに、管理職研修を実施する。 		

3-1-3 校務負担を軽減するための環境整備

【取組内容・実績】

ICTの活用による学校経営の効率化・高度化や学校の情報発信の促進、教員間の知見の共有等を進めるため、セキュリティを含めシステムの運用の向上と安定を図り、研修等を通じて全校での利活用を促進した。

校務支援システムのグループウェア機能について教職員利用者ログを用いて前年度との比較、分析を実施し、利活用促進を図った。

令和元年度に策定した「学校園における働き方改革推進プラン」で示す取組を実施した。

・幼稚園に対する校務支援システム(SKIPポータル)の校務機能・帳票導入に係る操作研修会等の実施
15回

- ・情報セキュリティeラーニングの実施 1回
- ・教職員向けのシステムに関する広報誌SKIPの発行 6回
- ・学校業務改善ワーキンググループの開催 3回
- ・スクールサポートスタッフの配置 小中学校計136校

業績目標	令和2年度実績	令和3年度実績
学校アンケートにおいて、校務支援システムのグループウェア機能の活用により、学校課題や児童生徒情報などの情報共有について改善が図れたと回答する教職員の割合 70%以上	90.4%	94.6%
「学校園における働き方改革推進プラン」で示す教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合を前年度から改善する。	【基準1】45.3% 【基準2】70.5%	【基準1】45.8% 【基準2】72.8%
調査・照会文書数(教委独自分) 前年度以下	313件	326件
スクールサポートスタッフの配置校において、教職員の長時間勤務の解消を図り、教職員一人あたりの時間外勤務時間を配置前と比較して年間36時間減少させるとともに、教職員へのアンケートにおいて、子どもと向き合う時間等についての環境改善が図れたと回答する割合 80%以上	99.2%	97.8%

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> 教員の負担軽減に向けては、「学校園における働き方改革推進プラン」に基づく取組を進めることで、時間外勤務時間の減少等が見られる状況ではあるが、学校業務改善ワーキンググループ等で得られた学校園現場の意見を踏まえながら学校園における働き方改革推進プランの改訂に取組むとともに、教員の長時間勤務の解消を目指して意見交換を重ね、教職員の負担軽減策の実施・検討に取り組んでいく。 スクールサポートスタッフについて、教職員アンケートの結果により一定の効果が見込まれることから、一層充実させ、推進していく必要がある。 コロナウイルスの収束が見えてこない状況で、グループウェア(特に、保護者メール、学校ホームページ)について新たな機能への対応を求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引続き、学校業務改善ワーキンググループ等で得られた学校園現場の意見を踏まえながら学校園における働き方改革推進プランの改訂に取組むとともに、教員の長時間勤務の解消を目指して意見交換を重ね、教職員の負担軽減策の実施・検討に取り組んでいく。 教員の負担軽減を十分に図るため、スクールサポートスタッフについて全校配置に向け、予算の確保を行っていく。 校務支援システム運用事業者及びコールセンターSKIPと連携し、マニュアルの更新を図っていくとともに、引き続き、学校園へのヒアリングや広報誌SKIP等による情報共有機能等の利活用方法について発信を継続し、周知に取り組んでいく。

【基準1】

次のA及びBの基準を満たすこと

A 1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間を減じた時間が45時間を超えないようにすること

B 1年間の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が360時間を超えないようにすること

【基準2】

- 基準1を原則としつつ、児童等に係る臨時的な特別の事情により勤務せざるを得ない場合についても、次のAからDまでの基準を満たすこと
- A 1年間の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が720時間を超えないようにすること
 - B 1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が45時間を超える月を1年間に6月までとすること
 - C 1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が100時間を超えないようにすること
 - D 連続する複数月（2か月、3か月、4か月、5か月、6か月）のそれぞれの期間について、各月の在校等時間の総時間から条例等で定められた各月の勤務時間の総時間を減じた時間の1か月当たりの平均が80時間を超えないようにすること

3-1-4 学校配置の適正化**【取組内容・実績】**

令和2年4月施行の条例・規則に基づき、児童の良好な教育環境の確保、教育活動の充実を図るため、学校配置の適正化を進めた。

- ・学校適正配置対象校（77校）のうち、学校再編整備計画案の検討を行った学校 31校（すでに再編プランが確定している3校を除く）
- ・学校適正配置対象校（77校）のうち、学級数、児童数の推移を十分注視し、学校再編整備計画案の検討を行った学校 40校（すでに再編プランが確定している3校を除く）

業績目標	令和2年度実績	令和3年度実績
学校再編整備計画の策定に向け、取組内容を滞りなく実施する。		令和3年度 取組内容通り 実施
学校再編整備計画案を検討した学校のうち、統合後の校舎等整備内容（案）や通学路（案）等が確定した学校から順次、学校再編整備計画を策定し、公表する。		令和3年度 取組内容通り 実施
課題	改善策	
・令和2年4月施行の条例・規則に基づき、児童の良好な教育環境の確保、教育活動の充実を図るため、学校配置の適正化の取組を推進する必要がある。	・令和2年4月施行の条例・規則に基づき、児童の良好な教育環境の確保、教育活動の充実を図るため、学級数や児童数の推移を注視しながらも、学校・地域・保護者との調整を図り、学校再編整備計画を策定・公表できるよう、必要な取組内容を滞ることなく進めていく。	

3-1-5 学校施設の老朽化への対応**【取組内容・実績】**

高度成長期以降、昭和40年代後半から昭和57年代にかけて建設された校舎等の老朽化が進んでいることから、安全・安心・良好な教育環境の確保に向けて、老朽改築と共に、施設を長く維持するための長寿命化改修を実施することで、施設の更新・維持管理に係る事業費の縮減や平準化に努めながら、学校施設の整備を行った。

- ・老朽改築 実施設計 8校 新規工事 6校
- ・長寿命化改修 実施設計 8校 新規工事 9校

業績目標	令和2年度実績	令和3年度実績
取組内容通り	100%	100%
課題	改善策	
・今後も引き続き、老朽化した校舎が増えることから、施設の更新・維持管理に関する事業費の縮減や平準化に努めながら、学校施設の整備を行う必要がある。	・施設を長く維持するための長寿命化改修工事を確実に実施し、中長期的な施設の更新・維持管理に関する事業費の縮減を図っていく。	

(2) 各取組の成果（アウトカムの達成状況）

＜アウトカムの達成状況＞

アウトカムの達成状況			
達成目標	令和2年度	令和3年度	達成状況
令和3年度末に、自校の「運営に関する計画」が目標どおり達成できたと回答する学校の割合を75%以上にする。	76.7%	75.0%	A

＜課題＞

引き続き各校で校長がリーダーシップを發揮し、独自の教育実践を進められるよう、カリキュラム・マネジメントを推進していく。

ICTの活用やスクールサポートスタッフ等外部人材の導入などにより、教員の長時間勤務については改善がみられるものの、解消までには至っていない。

2 戦略を通した今後の対応方向

「学校園における働き方改革推進プラン」に示す取組を実施し、引き続き教員の長時間勤務の解消を図っていく。

戦略3－2 教職員の資質向上と能力発揮

＜取り組む内容＞

教職員については、教員に求められる資質・能力を備えた人材を確保するとともに、採用後においては自律性を備えた人材としてその能力を高め、教育活動で専門性を十分に発揮できるよう支援する。

＜戦略（取組の方向性）＞

優れた教育実践の創造・共有が進むよう、教員の主体的な研究を支援し、その結果を「知」の財産として共有するための環境を整備するとともに、経験豊富な教員から若手教員へ指導技術が継承されるよう、メンター（若手教員リーダー）の育成や校内研修の支援を推進する。また、大学との連携をさらに発展させ、実践的なシンクタンク機能及び研修制度の構築を進める。

1 局運営方針に掲げた具体的取組の状況等

（1）具体的取組の達成状況

3-2-1 教育実践のイノベーションにつながる研究の推進		
業績目標	令和2年度実績	令和3年度実績
「がんばる先生支援」教員グループへの研究支援 127 グループ ・優れた研究成果や汎用性のある研究成果のWebページなどへの掲載	100%	100%

課題	改善策
・汎用性の高い研究成果を各校園や教員が活かせるようにするため、研究成果が活用されているかどうかを検証するとともに、活用についてさらに周知を図る必要がある。	・研究発表会において参加者アンケートを実施し、研究成果を「waku ^{×2} .com-bee」に登録することを紹介するなど、研究成果が活用できるよう周知の工夫を図る。

3-2-2 若手教員の指導力向上と校内研修の支援					
【取組内容・実績】					
メンターの育成・活用を通して組織的な若手教員の育成に取り組み、教員相互の学び合いにつながる校内研修が実施されるよう、退職校長の派遣や研修の実施等の支援を行った。					
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のメンター研修 2回(1回目オンデマンド 2回目オンライン) ・2年目教員の直接指導および授業、保育研究を伴う校園内研修体制づくりへの支援のための教育指導員の派遣 幼稚園 52園 171回 小学校 287校 1316回 中学校 130校 568回 ・幼稚園、小学校のOJTグループ研修 1回 ・学力向上推進事業における推進校の教員の指導力向上に対する学力向上指導実践チームの訪問指導の実施 小中 240校(再掲) 					
業績目標	令和2年度実績				
教育センターOJT事業評価アンケート(1月)で「授業が『わかる』『楽しい』と答える児童・生徒が増えた」とする旨の質問に対して、肯定的回答をする学校の割合 80%以上	幼稚園 100%	幼稚園 100%	小学校 94.0%		
中学校 98.0%	中学校 94.0%	令和3年度実績			
課題	改善策				
<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員への指導力向上支援や校園内研修支援について、オンラインによる実践的な指導・支援の充実を図る必要がある。 ・OJTや学力向上支援に係る訪問指導においては、1つの学校に複数の担当者が関わっており、多面的な状況を捉えることができていた反面、指導の一元化が十分に図れていない状況が合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修におけるスキルの向上を図るとともに、研修の運営方法を工夫していく。 ・令和4年度から全市展開される学力向上支援チーム事業で全校配置されるスクールアドバイザーに担当者を一元化する。 				

3-2-3 シンクタンク機能の充実			
【取組内容・実績】			
<p>全国学力・学習状況調査等の詳細かつ多面的な分析によって得られた客観的な結果をもとに、本市及び各小中学校の取組の成果と課題を検証し、各校の取組の改善・強化に役立てた。</p> <p>「waku^{×2}.com-bee(大阪市の授業のスタンダード)」ポータルサイトの基本のページの更新や、指導案、実践事例等のコンテンツの追加を行うとともに、教員が教材研究や研修等で有効に活用できるようにした。</p> <p>重点的に学力向上を図る研究校を指定し、大学等の外部と連携して調査研究を進め、学校の学力向上の取組を多面的総合的に支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「waku^{×2}.com-bee(大阪市の授業のスタンダード)」にコンテンツを約710追加した。(約7,250登録) ・「waku^{×2}.com-bee(大阪市の授業のスタンダード)」の新システム移行 学校園からのコンテンツ登録申請について、マニュアル等を周知(1月) ・大学・行政機関連携モデル校 小中合わせて8校 ・新・大阪市総合教育センター(仮称)の設置に向けた準備 　　基本構想をホームページに公開(令和3年3月) 　　基本設計完成(令和3年8月) 			

基本構想の愚見化に向けたワーキンググループを定期的に開催 ・大学と連携した研修の企画・開発・運営			
業績目標	令和2年度実績	令和3年度実績	
「自校の全国学力・学習状況調査の結果を大阪市の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等へ反映させている」学校の割合 95%以上	未測定 ※ 全国調査未実施のため	95.5%	
教材研究や研修等の際、「waku ^{×2} .com-bee (大阪市の授業のスタンダード)」の有効性を問う調査において、肯定的回答をする教員(年次研修対象者)の割合 80%以上	93.0%	91.9%	
大学と連携・協働して開発した研修が、自校の取組や実践に役立ったと回答する学校の割合 90%以上	91.0%	96.8%	
課題	改善策		
<ul style="list-style-type: none"> 研修資料や各校園・教育研究会等で作成した指導案等を「waku^{×2}.com-bee (大阪市の授業のスタンダード)」に追加し、さらに活用しやすいポータルサイトにする必要がある。 大学と連携・協働した実践をより高度化させ、学校の人才育成に寄与できるよう、事業内容を発展させることを検討する必要がある。 シンクタンク機能をもつ新・大阪市総合教育センター(仮称)設置のため、ワーキンググループで取組内容等の検討を行っていく必要がある。 ビッグデータのさらなる活用を図るため、分析手法の活用を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「waku^{×2}.com-bee (大阪市の授業のスタンダード)」に掲載してから年月の経っているコンテンツの扱いについて検討していく。 教職員の人才育成につながる研修内容の精選を行うとともに、高度な知見を有した大学教授等を招へいして、研修の充実を図る。また、人才育成がどのように図られているのか、追跡調査を行うことにより、研修内容の検証を行う。 ワーキンググループでは、大阪教育大学と連携して、シンクタンク機能の充実に取り組んでいく。 大学教員を招き、分析手法の研修を図るなど、具体的かつ実践的にビッグデータの活用を図っていく。 		

3-2-4 小中一貫教育の推進											
【取組内容・実績】 <p>全ての中学校区に、「大阪市小中連携推進プラン」に沿って各校区の「小中連携アクションプラン」を作成させるとともに、各校区のアクションプランに基づき小中連携した取組が実施されるよう、実施に課題がある学校を中心に支援を行った。</p> <p>また、施設一体型・隣接型小中一貫校においては、9年間を見通した特色のある教育が実践されるよう、専門性を生かした授業、少人数授業等を充実させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中連携コーディネーターを対象とした研修 未実施(新型コロナのため) 小中教員が協働した授業の実施 施設一体型小中一貫校5校 「小中連携カリキュラムモデル」の作成・実践 中学校2校(全市で共有するコンテンツを収集) 施設一体型・隣接型小中一貫校の検証に向けた調査を行った。 											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>業績目標</th><th>令和2年度実績</th><th>令和3年度実績</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中連携した教育に関する取組を進め、学校調査で「中学進学に不安を抱く児童が減少した」とする旨の回答の割合 前年度同等</td><td>96.0%</td><td>96.8%</td><td></td></tr> </tbody> </table>				業績目標	令和2年度実績	令和3年度実績		小中連携した教育に関する取組を進め、学校調査で「中学進学に不安を抱く児童が減少した」とする旨の回答の割合 前年度同等	96.0%	96.8%	
業績目標	令和2年度実績	令和3年度実績									
小中連携した教育に関する取組を進め、学校調査で「中学進学に不安を抱く児童が減少した」とする旨の回答の割合 前年度同等	96.0%	96.8%									

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携コーディネーター研修に代わり、英語科における小中連携研究授業を実施した。その成果を、「小中連携カリキュラムモデル」として全市に周知する必要がある。 ・「大阪市小中連携推進プラン」が策定されて10年が経つことから、この間の学校教育法の改正や学習指導要領の改定、本市小中一貫校の成果と課題を踏まえながら、プランの見直しを図る必要がある。 ・施設一体型・隣接型小中一貫校の検証結果を分析し、本市小中一貫校の新たな魅力づくりに活分析結果を活用していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小中連携カリキュラムモデル」に必要なコンテンツをとりまとめ、waku^{×2}.com-beeに掲載することで、全市に周知を図っていく。 ・小中一貫教育ワーキンググループを立ち上げ、小中一貫した教育の推進に関する考え方等を検討し、「大阪市小中連携推進プラン」の改訂を行っていく。 ・また、小中一貫教育ワーキンググループにおいて、分析結果を施設一体型や施設分離型小中一貫校の教育内容の検討等に活用し、新たな魅力を創出するために必要な協議を行っていく。

(2) 各取組の成果（アウトカムの達成状況）

＜アウトカムの達成状況＞

達成目標	アウトカムの達成状況			
	令和2年度		令和3年度	
	全国・本市	全国	本市	達成状況
令和3年度末に、全国調査の「国語・算数（数学）の授業の内容はよく わかりますか」「国語・算数（数学）は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童生徒の割合を全国平均以上にする。	未測定 ※ 全国調査未実施のため	小学校「わかる」 国語 84.2% 算数 84.6%	小学校「わかる」 国語 86.8% 算数 85.1%	A A
	未測定 ※ 全国調査未実施のため	小学校「好き」 国語 58.4% 算数 67.8%	小学校「好き」 国語 62.2% 算数 65.6%	A B
	未測定 ※ 全国調査未実施のため	中学校「わかる」 国語 80.1% 数学 74.6%	中学校「わかる」 国語 80.7% 数学 73.5%	A B
	未測定 ※ 全国調査未実施のため	中学校「好き」 国語 60.8% 数学 59.1%	中学校「好き」 国語 61.5% 数学 56.3%	A B

＜課題＞

国語の学習理解や興味・関心については小学校、中学校ともに大きな改善がみられ、全国値を上回ることができたが、算数・数学では全国平均に達していない。達成していない項目の目標達成に向けて引き続き改善を図る必要がある。

2 戰略を通した今後の対応方向

教員による実践的な研究活動を支援するとともに、その研究成果を全市校園で活用できるように、「waku^{×2}.com-bee（大阪市の授業スタンダード）」コンテンツの充実を図っていく。

学力向上サポート訪問等により、成功事例の周知を行っていく。

大学と連携・協働した研修等の取組を推進するとともに、自主的な研修システムを導入することで、次世代を担う教員・管理職の育成と資質向上を図っていく。

2 「市政改革プラン3.0」に基づく取組等

【取組項目1】質の高い学校運営	
趣旨・目的	
各学校がその組織としての力を十分に發揮して、成果を上げることができるよう、組織面や負担軽減などの支援に取り組む。	
取組内容・目標	
<ul style="list-style-type: none">・waku^{x2}.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）の充実・学校訪問等における学力向上推進事業の成果の全市展開・授業力向上アドバイスシートの活用・専門家・サポートスタッフの活用、部活動の改革、「学校園における働き方改革推進プラン」の推進、保護者・地域への理解の促進・副校長・首席（教頭補佐）・主務教諭の効果的な配置・スクールサポートスタッフの配置拡大と他の補助員の見直し・習熟度別少人数授業など指導方法改善手法の柔軟化の検討 実施教科の見直し、教科担任制による教科指導の充実・講師不足への対応（土曜日・日曜日の講師登録会、大学での説明会実施等）	
当年度の取組実績及び目標の達成状況	
<ul style="list-style-type: none">・各校の指導要請や教育センターでの研修（各年次研修、教科等指導力向上研修）等において、「waku^{x2}.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」の内容を資料として活用した。・「waku^{x2}.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」にコンテンツを約710追加した。（3月現在 約7,250登録）・「waku^{x2}.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」の新システム移行に伴い、学校園からコンテンツ登録申請できるようになり、1月にマニュアル等を周知した。・学力向上サポート訪問で成果の周知を行った。・授業力向上アドバイスシートの活用については、幼稚園では、園内研修支援・OJT事業において、積極的に活用した。小中学校では、オンデマンドにより実施したメンター研修1において、授業力向上アドバイスシートを活用するよう、メンターに指示した。・習熟度別少人数授業加配教員が、学校の実情に応じて専科教員として授業を行えるよう、教科指導の充実を図った。・講師不足への対応（土曜日・日曜日の講師登録会、大学での説明会実施等）を行った。	

【取組項目2】教育を支える力の育成	
趣旨・目的	
子どもたちに直に接する教員の資質向上を支援するとともに、学校の教育活動を支援する事業・取組の質の向上を図る。	
取組内容・目標	
<ul style="list-style-type: none">・採用前の人材育成 教員希望者に対して、「教員としての資質の向上に関する指標」を活用して、学校現場での教育実習や学生ボランティア、大阪市教師養成講座をとおして、教員として大切な資質や基礎的な指導力の育成を図る。・大学と連携した専門的研修の提供 ミドルリーダーを対象にした研修と大学院の教育カリキュラムを連携させ、キャリアステージに応じた研修体系を検討し、学び続ける教員を育成する。・事務局の4ブロック化の推進	

指導主事の体制を充実し、学校への定期的な巡回による状況把握及び指導助言の資的向上を図り、きめ細かな学校支援を行う。

・地域協働活動の場の整備

これまでのはぐくみネットや学校元気アップ地域本部の事業等の連携を基礎とした、今後の地域と学校が協働していく仕組みを整備していく。

当年度の取組実績及び目標の達成状況

・採用前の人材育成については、新型コロナウイルス感染症対策のため、教師養成講座の内容を一部変更・統合して、全13回の講座を開催した。(集合8回 オンライン5回)また、希望者には学校現場での実習を実施し、実習受け入れ校30校において52名が受講した。前年度修了者のうち、令和3年度実施の本市教員採用選考テストの受験率は81.9%で、合格率は67.2%であった。

・大学と連携した専門的研修の提供については、中堅教員研修と大学院の教育カリキュラムの連携について、大学と協議中である。

・事務局の4ブロック化の推進

指導主事の体制を充実し、学校への定期的な巡回による状況把握及び指導助言の資的向上を図り、きめ細かな学校支援を行った。

・地域協働活動の場の整備については、これまでのはぐくみネットや学校元気アップ地域本部の事業等の連携を基礎とした、今後の地域と学校が協働していく仕組みを整備した。

地域学校協働活動推進プロジェクトチーム会議(12月・2月実施)、

実務者によるワーキングチーム(7月・9月・11月)

現状把握のため、関係者への聞き取り(9月)

はぐくみネットコーディネーター対象アンケート調査(10~11月実施)

を実施し、課題整理等をおこなった。

【取組項目3】成果を意識した制度の構築

趣旨・目的

教育委員会事務局と学校がより緊張感をもって、一体となって学力向上など、教育目標に向かって取り組むための、制度を構築する。

取組内容・目標

・学力テストなどの人事評価への反映を含む新たな人事・給与制度の試行実施に向けた検討

・学力向上に寄与する施策により学校を支援し、校長経営戦略支援予算の改編により、成果へのインセンティブが働く仕組みの導入を検討する。

・学力向上や生徒指導上の成果を上げた教職員への新たな表彰制度を検討

・学力向上推進事業の取り組みの検証や表彰制度の検討など、教育ビッグデータ活用検討プロジェクトチームで外部の知見を活用しながら、効果的な施策の構築を行う。

当年度の取組実績及び目標の達成状況

・学力向上の成果等の人事評価への反映を含む新たな人事評価制度の検討を行ったが、人事室における制度改正を踏まえ、再検討を行った。

・校長経営戦略支援予算については、令和2年度から小中学校に対する加算配付をブロック化による学校支援事業の一部へ編みかえることにより、各ブロックにおいてブロックの実情に応じた支援が可能となるようにした。

・教育ビッグデータ活用検討プロジェクトチームにおいて、学力向上に係る取組の見える化・分析を行った。

【取組項目4】持続可能な教育環境の確保

趣旨・目的

今後の少子高齢化社会の進展を見据え、学校が将来にわたって成果を上げるための環境整備を計画的に行

う。

取組内容・目標

- ・学校再編整備計画の策定に向け、取組内容を滞りなく実施する。
- ・学校再編整備計画案を検討した学校のうち、統合後の校舎等整備内容（案）や通学路（案）等が確定した学校から順次、学校再編整備計画を策定し、公表する。
- ・令和2年4月施行の条例・規則に基づき、児童の良好な教育環境の確保、教育活動の充実を図るため、学校配置の適正化を進める。
- ・学校適正配置対象校のうち、学校再編整備計画案を検討する学校 40校
- ・学校適正配置対象校のうち、学級数、児童数の推移を十分注視し、学校再編整備計画案を検討する学校 36校
- ・中長期的な指針に基づき、学校毎に校舎増築等の対応策を着実に進める。（令和3年度新規設計着手校：1校）
- ・市立高等学校の大阪府への円滑な移管に向けて、移管計画等に基づいた取組の実施

当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・学校適正配置対象校のうち、学校再編整備計画案の検討を行った学校 31校
- ・学校適正配置対象校のうち、学級数、児童数の推移を十分注視し、学校再編整備計画案の検討を行った学校 40校
- ・各区教育担当課長を対象とした、学校配置の適正化にかかる勉強会を開催するとともに、取組にかかる各種資料の提供を行った。また、学校配置の適正化推進ワーキンググループ会議を3回開催し、「学校配置の適正化に向けた取り組みの進め方（実務の手引き）」の作成や統合後アンケートの見直しを行うなど、区役所が円滑に学校再編整備計画案を作成することができるよう、支援内容の検討を行った。
- ・各区の学校配置の適正化にかかる取組状況及び課題を把握、共有し、支援するなど、学校再編整備計画の策定に向けた取り組みを進めた。
- ・令和4年1月に高等学校21校と市立中学校2校を設置する大阪府立学校条例が施行された。

【取組項目5】未利用地の売却・転活用の促進

趣旨・目的

未利用地の売却・転活用に向けた取組を促進し、市有財産の有効活用と財源の確保を図る。

取組内容・目標

- ・処分検討地となっている未利用地について、処分年度に応じて区役所と連携し、地域の理解を得ながら検討を進め、計画的に売却できるよう進めていく。
- ・売却や事業化に相当な期間を有する土地については、周辺のまちづくりに寄与する観点にも留意しつつ、暫定的な貸付を行い、財源の確保に努める。
- ・境界確定が容易でないなど、商品化が困難なものについては、測量・登記事務等を民間に委託し、スピード感を持って取り組んでいく。

当年度の取組実績及び目標の達成状況

- ・もと難波特別支援学校（木津川）学習園用地の土壤汚染調査（深度調査）を実施し、来年度に汚染区域指定申請を行う予定である。なお、汚染土の入替などにより汚染区域の指定解除のうち不動産鑑定等の売却準備を進める。

【取組項目6】民間委託化の推進

趣旨・目的

業務の効率化を図るため、事務事業の民間委託化を推進する。

取組内容・目標

- ・小学校給食調理業務の民間委託化を推進する。

- | |
|---------------------|
| ・新たに8校で実施する。(計132校) |
|---------------------|

当年度の取組実績及び目標の達成状況

- | |
|------------------------------------|
| ・新たに8校で小学校給食調理業務の民間委託を実施した。(計132校) |
|------------------------------------|

【取組項目7】職員数・超過勤務の縮減

趣旨・目的

事務局職員については、全市的な方針に基づいた人員体制の構築に務める。 時間外勤務の上限規制を踏まえ、超過勤務の縮減に取り組む。 管理作業員・給食調理員について、引き続き削減を着実に行う。あわせて、超過勤務の縮減に取り組む。

取組内容・目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・管理作業員については、業務の効率化に伴う見直しや事務転任等を実施する。 ・給食調理員については、給食調理業務の民間委託化に伴う見直しや事務転任等を実施する。 ・時間外勤務の上限規制を踏まえて、超過勤務の縮減に取り組む。 ・管理作業員については、34名削減する。(累計94名見込) ・給食調理員については、21名削減する。(累計84名見込)【いずれも令和3年4月現在】 ・時間外労働時間について、全市的な方針・指針を踏まえ、縮減に取り組む。 |
|---|

当年度の取組実績及び目標の達成状況

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務手当については、所属管理監督者への呼びかけや働き方改革をふまえた長時間労働の是正に向け、超過勤務実績状況を所属管理監督者へ周知するなど、削減に向けた取組を行った。 ・管理作業員については、34名削減した。 ・給食調理員については、21名削減した。(いずれも令和3年4月現在) |
|--|

【取組項目8】職員力の向上と新たな組織風土づくり

趣旨・目的

自主的・主体的にリーダーシップを発揮し、能力開発やキャリア形成につながる自己啓発に取り組むことができるよう組織風土を醸成することで、より質の高い教育行政の推進や市民サービスの向上をめざす。
--

取組内容・目標

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にラインミーティングを実施することなどにより、職員間の情報共有及びコミュニケーションを活性化させ、業務能率の向上を図る。 ・多様化する職員のニーズを把握しながら、ワーク・ライフ・バランス推進の観点から、柔軟な働き方を受容する意識改革や職場環境づくりに努める。 ・学校園教職員に対し、コンプライアンスに関する文書周知や研修を実施し、校園長・教頭・副校長及び首席・指導教諭等に対して、不祥事根絶に向けた積極的な取組を促す。また、研修において、服務に関する内容を組み入れ、より多くの機会に効果的な指導を行う。 ・服務・監察チームを活用し、効率的に学校園に対するきめ細かい指導等を行い、コンプライアンス意識の向上、非違行為の未然防止に努める。 |
|--|

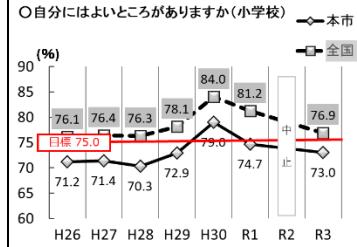
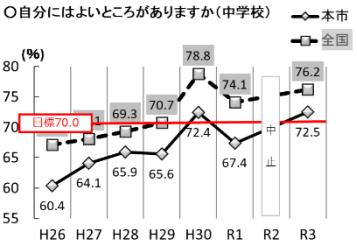
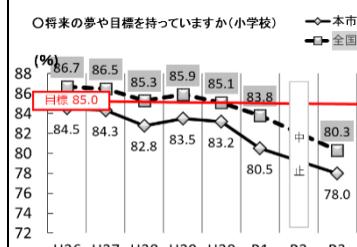
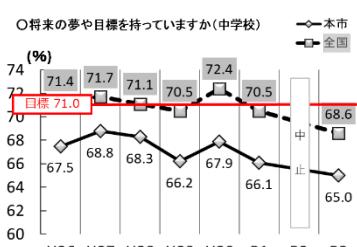
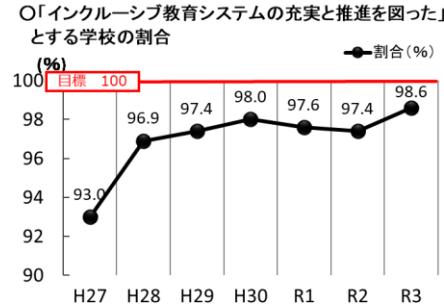
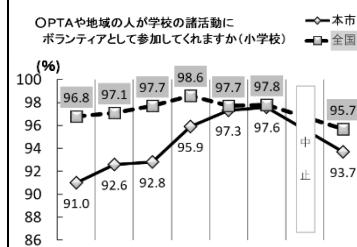
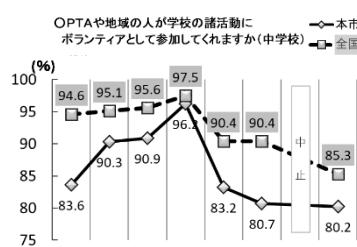
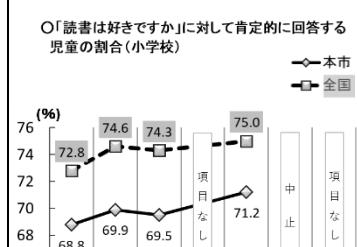
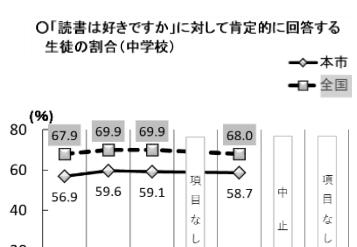
当年度の取組実績及び目標の達成状況

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・風通しの良い職場風土づくりのため、継続的にラインミーティングを実施し、情報共有やコミュニケーションを一層図ることで、組織力の向上に寄与した。 ・ワーク・ライフ・バランスの観点から、ノー残業デー該当日に職員周知を行う等、職員が定時退庁しやすい環境づくりを推進することができた。 ・7月1日～8月31日まで、「ワーク・ライフ・バランス推進期間」として、テレワークの推進や定時退庁、年次有給休暇や夏季休暇の取得推進を行い、ワーク・ライフ・バランスの確立につなげることができた。 ・新任校園長、全校園長及び全教員対象のコンプライアンス・服務研修をeラーニングにより実施 ・服務監察の実施(112校園実施済み) |
|---|

3 教育振興基本計画に掲げられた目標の達成状況（進捗状況）

評価結果：【A】目標の達成（進捗状況は順調である） 【B】目標の未達成（進捗状況は順調とは言えない）

目標	達成状況（進捗状況）	評価結果
目標1 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現 施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現	<p>○不登校の割合（小学校）</p> <p>○不登校の割合（中学校）</p>	<p>小学校【B】/ 中学校【B】</p> <p>全国と同様、不登校の状態にある児童生徒の在籍比率が増加傾向にあり、特に中学校で課題である。目標に対して大きな差があり、順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市教育支援センター（適応指導教室）の活用 ・SNS教育相談の実施
いじめの解消率：令和3年度末に小学校95%、中学校95%以上 【本市調査】	<p>○いじめの解消率</p>	<p>小学校【B】/ 中学校【B】</p> <p>いじめについては、安易に解消とせず慎重な対応に努めていることもあり、いじめの解消率は減少している。小中学校ともに目標に対して差があり、順調とは言えない。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ重大事案における第3者委員会の常設化 ・生活指導支援員の配置 ・こどもサポートネットの全区実施 ・スクールソーシャルワーカーの全区配置
「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合：令和3年度末に小学校91.0%、中学校94.0%以上 【全国学力・学習状況調査】	<p>○学校のきまりを守っていますか（小学校）</p> <p>○学校の規則を守っていますか（中学校）</p>	<p>小学校【B】/ 中学校【A】</p> <p>全国調査の質問項目から削除されたため、小学校は経年調査を、中学校は学校調査の数値を代用。小学校は目標を達成することができなかったが、中学校は目標を達成することができた。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の推進 ・「学校安心ルール」の活用
施策2 道徳心・社会性の育成	<p>○人の役に立つ人になりたいと思いますか（小学校）</p> <p>○人の役に立つ人になりたいと思いますか（中学校）</p>	<p>小学校【A】/ 中学校【A】</p> <p>小中学校とともに、目標に向けて順調に推移し、目標を達成することができた。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の推進 ・キャリア教育の充実と推進

目標	達成状況(進歩状況)	評価結果
「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合:令和3年度末に小学校75.0%、中学校70.0%以上 【全国学力・学習状況調査】	 	小学校【B】/中学校【A】 小学校では令和元年度よりも減少し、目標を達成することができなかつた。 中学校では経年的に見ると目標に向けて順調に推移し、目標を達成することができた。 主な事業 ・道徳教育の推進
「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合:令和3年度末に小学校85.0%、中学校71.0%以上 【全国学力・学習状況調査】	 	小学校【B】/中学校【B】 小中学校とも全国平均と同じく、肯定的回答の割合が減少傾向にあり、目標を達成することができなかつた。 主な事業 ・キャリア教育の充実と推進
「インクルーシブ教育システムの充実と推進を図った」とする学校の割合:令和3年度末に100% 【本市調査】		【B】 目標に対して高い水準を保ったまま概ね順調に推移しているが、目標を達成することができなかつた。 主な事業 ・インクルーシブ教育システムの充実と推進
施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援		
「PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか」に対して肯定的に回答する学校の割合:令和3年度末に全国平均以上 【全国学力・学習状況調査】	 	小学校【B】/中学校【B】 小学校は順調に推移して高い水準を保っていたものの令和3年度は減少し、目標を達成することができなかつた。 中学校は肯定的回答の割合が減少し、目標を達成することができなかつた。 主な事業 ・学校協議会、学校元気アップ地域本部事業など
「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合:令和3年度末に全国平均以上 【全国学力・学習状況調査】	 	小学校【-】/中学校【-】 全国調査の質問項目から削除されたため、未測定 【参考: 経年調査より、小学校は74.3%】 小学校は経年調査の数値を代用すると上昇傾向がみられる。 主な事業 ・学校図書館の活性化

目標	達成状況（進捗状況）	評価結果																								
目標2 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上 施策4 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上	<p>○就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合 ■割合(%)</p> <table border="1"> <caption>就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>94.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>94.5</td></tr> <tr><td>R1</td><td>93.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>93.1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>92.7</td></tr> </tbody> </table>	期間	割合(%)	H29	94.2	H30	94.5	R1	93.0	R2	93.1	R3	92.7	<p>【 A 】</p> <p>肯定的回答の割合は目標を上回ったまま推移し、目標を達成することができた。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育カリキュラムの浸透と実践 												
期間	割合(%)																									
H29	94.2																									
H30	94.5																									
R1	93.0																									
R2	93.1																									
R3	92.7																									
施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組	<p>○平均正答率の対全国比(小学校 国語) ■国語A □国語B ▲国語 ○平均正答率の対全国比(小学校 算数) ■算数A □算数B ▲算数</p> <p>○平均正答率の対全国比(中学校 国語) ■国語A □国語B ▲国語 ○平均正答率の対全国比(中学校 数学) ■数学A □数学B ▲数学</p>	<p>小学校国語【 A 】算数【 B 】 中学校国語【 B 】数学【 A 】</p> <p>平均正答率の対全国比については緩やかな改善傾向が見られる。小学校算数、中学校国語では目標を達成することができなかつたが、小学校国語、中学校数学では目標を達成することができた。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上を図るための学習支援の充実 ・学校力UPベース事業（習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実）の実施 																								
普段、学校の授業以外で全く勉強しない児童生徒の割合：令和3年度末に小学校4.0%、中学校9.0%以下 【全国学力・学習状況調査】	<p>○普段、学校の授業以外で全く勉強しない児童生徒の割合 ■小学校 ▲中学校</p> <table border="1"> <caption>普段、学校の授業以外で全く勉強しない児童生徒の割合</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>7.0</td><td>11.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7.0</td><td>11.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7.5</td><td>11.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>7.7</td><td>10.7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>6.9</td><td>10.7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>9.1</td><td>9.1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>8.9</td><td>7.0</td></tr> </tbody> </table>	期間	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	7.0	11.2	H28	7.0	11.8	H29	7.5	11.4	H30	7.7	10.7	R1	6.9	10.7	R2	9.1	9.1	R3	8.9	7.0	<p>小学校【 B 】/ 中学校【 A 】</p> <p>小学校は横ばい状態が続いているが、令和3年度は目標との差が広がり目標を達成することができなかつた。</p> <p>中学校は改善傾向が続き、目標を達成することができた。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後を活用した学習機会の支援
期間	小学校 (%)	中学校 (%)																								
H27	7.0	11.2																								
H28	7.0	11.8																								
H29	7.5	11.4																								
H30	7.7	10.7																								
R1	6.9	10.7																								
R2	9.1	9.1																								
R3	8.9	7.0																								

目標	達成状況（進捗状況）	評価結果																																																						
理科の授業で、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答する児童生徒の割合：令和3年度末に小学校70.0%、中学校45.0%以上 【全国学力・学習状況調査】 【本市調査】	<p>○理科の授業で、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答する児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>64.7</td><td>38.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>68.3</td><td>41.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>69.6</td><td>41.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>70.6</td><td>41.2</td></tr> <tr><td>R1</td><td>70.6</td><td>41.2</td></tr> <tr><td>R2</td><td>70.6</td><td>41.2</td></tr> <tr><td>R3</td><td>70.6</td><td>62.1</td></tr> </tbody> </table> <p>※R1以降の小学校については、小学校学力経年調査の結果を活用 ※R3の中学校については、学校調査の結果を活用</p>	調査年	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	64.7	38.9	H28	68.3	41.2	H29	69.6	41.2	H30	70.6	41.2	R1	70.6	41.2	R2	70.6	41.2	R3	70.6	62.1	<p>小学校【A】/中学校【A】</p> <p>全国調査で理科が実施されず、質問項目に追加されなかったため、小学校は経年調査を、中学校は学校調査の数値を代用。</p> <p>小学校では緩やかな改善傾向が続き、目標を達成することができた。</p> <p>中学校では大きく改善し、目標を達成することができた。</p> <p>主な事業 ・理数教育の充実</p>																														
調査年	小学校 (%)	中学校 (%)																																																						
H27	64.7	38.9																																																						
H28	68.3	41.2																																																						
H29	69.6	41.2																																																						
H30	70.6	41.2																																																						
R1	70.6	41.2																																																						
R2	70.6	41.2																																																						
R3	70.6	62.1																																																						
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合：令和3年度末に小学校66.0%、中学校58.0%以上 【全国学力・学習状況調査】	<p>○「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>60.5</td><td>50.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>61.1</td><td>52.7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>62.7</td><td>51.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>72.3</td><td>64.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>69.5</td><td>61.5</td></tr> <tr><td>R2</td><td>72.5</td><td>73.4</td></tr> <tr><td>R3</td><td>71.9</td><td>66.9</td></tr> </tbody> </table> <p>※R2の小学校については、小学校学力経年調査の結果を活用 中学校については学校調査の結果を活用</p>	調査年	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	60.5	50.4	H28	61.1	52.7	H29	62.7	51.9	H30	72.3	64.0	R1	69.5	61.5	R2	72.5	73.4	R3	71.9	66.9	<p>小学校【A】/中学校【A】</p> <p>小中学校ともに平成30年度より目標を上回った状態で推移し、目標を達成することができた。</p> <p>主な事業 ・「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の推進</p>																														
調査年	小学校 (%)	中学校 (%)																																																						
H27	60.5	50.4																																																						
H28	61.1	52.7																																																						
H29	62.7	51.9																																																						
H30	72.3	64.0																																																						
R1	69.5	61.5																																																						
R2	72.5	73.4																																																						
R3	71.9	66.9																																																						
施策6 國際社会において生き抜く力の育成																																																								
中学校卒業段階で、CEFRのA1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合：令和3年度末に50%以上 【本市調査(大阪市英語力調査)】	<p>○中学校卒業段階で、CEFRのA1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>大阪市 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>18.7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>24.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>29.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>38.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>52.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>52.8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>54.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>54.0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>52.6</td></tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度より、4技能「聞く・読む・話す・書く」による英語力調査</p>	調査年	大阪市 (%)	H25	18.7	H26	24.0	H27	29.9	H28	38.9	H29	52.2	H30	52.8	R1	54.0	R2	54.0	R3	52.6	<p>【A】</p> <p>一定の水準を維持し、目標を達成することができた。</p> <p>【参考：令和元年度】</p> <p>国第3期教育振興基本計画において、測定指標をCEFRのA1レベル相当以上としていることから、目標を左記のとおり改定する。</p> <p>主な事業 ・英語教育の強化</p>																																		
調査年	大阪市 (%)																																																							
H25	18.7																																																							
H26	24.0																																																							
H27	29.9																																																							
H28	38.9																																																							
H29	52.2																																																							
H30	52.8																																																							
R1	54.0																																																							
R2	54.0																																																							
R3	52.6																																																							
施策7 健康や体力を保持増進する力の育成																																																								
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点：令和3年度末に小学校男子53.0点、女子56.0点、中学校男子42.0点、女子51.0点以上 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】	<p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点(小学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>男子 (点)</th> <th>女子 (点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>53.5</td><td>53.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>52.2</td><td>54.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>52.6</td><td>54.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>52.8</td><td>54.5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>52.8</td><td>54.5</td></tr> <tr><td>R1</td><td>52.5</td><td>52.8</td></tr> <tr><td>R2</td><td>50.8</td><td>52.8</td></tr> <tr><td>R3</td><td>50.8</td><td>50.8</td></tr> </tbody> </table> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点(中学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>男子 (点)</th> <th>女子 (点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>47.5</td><td>47.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>48.1</td><td>49.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>49.3</td><td>49.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>50.1</td><td>50.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>50.1</td><td>50.1</td></tr> <tr><td>R1</td><td>41.3</td><td>48.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>41.0</td><td>48.1</td></tr> <tr><td>R3</td><td>40.7</td><td>48.1</td></tr> </tbody> </table>	調査年	男子 (点)	女子 (点)	H26	53.5	53.5	H27	52.2	54.3	H28	52.6	54.6	H29	52.8	54.5	H30	52.8	54.5	R1	52.5	52.8	R2	50.8	52.8	R3	50.8	50.8	調査年	男子 (点)	女子 (点)	H26	47.5	47.5	H27	48.1	49.4	H28	49.3	49.3	H29	50.1	50.1	H30	50.1	50.1	R1	41.3	48.1	R2	41.0	48.1	R3	40.7	48.1	<p>小学校男子【B】女子【B】 中学校男子【B】女子【B】</p> <p>全般的には緩やかな上昇傾向にあったが、小学校では男女とも前年度より大幅に減少し、目標を達成することができなかった。</p> <p>中学校でも男女ともに令和元年度よりも減少し目標を達成することができなかった。</p> <p>主な事業 ・子どもの体力向上支援</p>
調査年	男子 (点)	女子 (点)																																																						
H26	53.5	53.5																																																						
H27	52.2	54.3																																																						
H28	52.6	54.6																																																						
H29	52.8	54.5																																																						
H30	52.8	54.5																																																						
R1	52.5	52.8																																																						
R2	50.8	52.8																																																						
R3	50.8	50.8																																																						
調査年	男子 (点)	女子 (点)																																																						
H26	47.5	47.5																																																						
H27	48.1	49.4																																																						
H28	49.3	49.3																																																						
H29	50.1	50.1																																																						
H30	50.1	50.1																																																						
R1	41.3	48.1																																																						
R2	41.0	48.1																																																						
R3	40.7	48.1																																																						
「食に関する指導の年間指導計画」を作成している学校の割合：令和3年度末に100% 【本市調査】	<p>○「食に関する指導の年間指導計画」を作成している学校の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>87</td><td>68</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100</td><td>89</td></tr> <tr><td>H29</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>H30</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>R1</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>R2</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>R3</td><td>100</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>	調査年	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	87	68	H28	100	89	H29	100	100	H30	100	100	R1	100	100	R2	100	100	R3	100	100	<p>小学校【A】/中学校【A】</p> <p>順調に進捗し、目標を達成することができた。</p> <p>主な事業 ・食育の推進</p>																														
調査年	小学校 (%)	中学校 (%)																																																						
H27	87	68																																																						
H28	100	89																																																						
H29	100	100																																																						
H30	100	100																																																						
R1	100	100																																																						
R2	100	100																																																						
R3	100	100																																																						

目標	達成状況（進捗状況）	評価結果																																																																																																																								
施策8 施策を実現するための仕組みの推進	<p>自校の「運営に関する計画」が目標どおり達成できたとする学校の割合：令和3年度末に75%以上</p> <p>【本市調査】</p> <table border="1"> <caption>自校の「運営に関する計画」が目標どおり達成できたと回答する学校の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>81.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>91.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>90.3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>76.7</td></tr> <tr><td>R3</td><td>75.0</td></tr> </tbody> </table>	期間	割合 (%)	H29	81.2	H30	91.4	R1	90.3	R2	76.7	R3	75.0	<p>【 A 】</p> <p>前年度より肯定的回答の割合が減少しているものの、目標を達成することができた。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校園長によるマネジメントの強化 																																																																																																												
期間	割合 (%)																																																																																																																									
H29	81.2																																																																																																																									
H30	91.4																																																																																																																									
R1	90.3																																																																																																																									
R2	76.7																																																																																																																									
R3	75.0																																																																																																																									
国語・算数（数学）の授業について、「好き」「わかる」と回答する児童生徒の割合：令和3年度末に「好き」小学校国語 58.0%、算数 66.0%、中学校国語 60.0%、数学 56.0%、「わかる」小学校国語 80.0%、算数 80.0%、中学校国語 75.0%、数学 70.0%以上	<p>【全国学力・学習状況調査】</p> <table border="1"> <caption>国語・算数（数学）の授業について、「好き」「わかる」と回答する児童生徒の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>国語 (%)</th> <th>算数 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>53.8</td><td>55.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>55.2</td><td>60.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>57.8</td><td>62.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>55.7</td><td>63.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>60.9</td><td>64.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>65.6</td><td>65.1</td></tr> <tr><td>R1</td><td>67.0</td><td>65.6</td></tr> <tr><td>R2</td><td>62.2</td><td>65.6</td></tr> <tr><td>R3</td><td>61.5</td><td>65.6</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>国語・数学の授業について、「わかる」と回答する生徒の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>国語 (%)</th> <th>数学 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>55.7</td><td>56.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>56.2</td><td>52.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>58.7</td><td>52.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>57.0</td><td>54.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>59.1</td><td>50.7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>61.5</td><td>49.1</td></tr> <tr><td>R1</td><td>56.3</td><td>53.8</td></tr> <tr><td>R2</td><td>56.3</td><td>53.8</td></tr> <tr><td>R3</td><td>56.3</td><td>53.8</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>国語・算数の授業について、「わかる」と回答する児童の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>国語 (%)</th> <th>算数 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>77.3</td><td>76.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>79.0</td><td>79.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>78.8</td><td>78.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>80.7</td><td>80.7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>82.0</td><td>84.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>84.0</td><td>85.8</td></tr> <tr><td>R1</td><td>85.1</td><td>86.8</td></tr> <tr><td>R2</td><td>85.1</td><td>86.8</td></tr> <tr><td>R3</td><td>85.1</td><td>86.8</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>国語・数学の授業について、「わかる」と回答する生徒の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>国語 (%)</th> <th>数学 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>68.1</td><td>68.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>69.2</td><td>68.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>72.5</td><td>69.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>72.3</td><td>67.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>73.0</td><td>70.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>73.5</td><td>74.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>77.3</td><td>74.4</td></tr> <tr><td>R2</td><td>80.7</td><td>74.4</td></tr> <tr><td>R3</td><td>80.7</td><td>73.5</td></tr> </tbody> </table>	期間	国語 (%)	算数 (%)	H25	53.8	55.2	H26	55.2	60.6	H27	57.8	62.7	H28	55.7	63.0	H29	60.9	64.6	H30	65.6	65.1	R1	67.0	65.6	R2	62.2	65.6	R3	61.5	65.6	期間	国語 (%)	数学 (%)	H25	55.7	56.2	H26	56.2	52.0	H27	58.7	52.7	H28	57.0	54.1	H29	59.1	50.7	H30	61.5	49.1	R1	56.3	53.8	R2	56.3	53.8	R3	56.3	53.8	期間	国語 (%)	算数 (%)	H25	77.3	76.8	H26	79.0	79.0	H27	78.8	78.4	H28	80.7	80.7	H29	82.0	84.1	H30	84.0	85.8	R1	85.1	86.8	R2	85.1	86.8	R3	85.1	86.8	期間	国語 (%)	数学 (%)	H25	68.1	68.2	H26	69.2	68.5	H27	72.5	69.4	H28	72.3	67.0	H29	73.0	70.6	H30	73.5	74.4	R1	77.3	74.4	R2	80.7	74.4	R3	80.7	73.5	<p>小学校「好き」</p> <p>国語【 A 】算数【 B 】</p> <p>中学校「好き」</p> <p>国語【 A 】数学【 A 】</p> <p>小学校「わかる」</p> <p>国語【 A 】算数【 A 】</p> <p>中学校「わかる」</p> <p>国語【 A 】数学【 A 】</p> <p>小学校では国語・算数について「好き」と回答する児童の割合が順調に改善されていたものの、令和3年度は国語・算数ともに減少し、国語では目標を達成することができたが、算数では目標を達成することができなかった。また、小学校国語・算数が「わかる」と回答する児童の割合については、改善傾向が続き目標を達成することができた。</p> <p>中学校では国語・数学について「好き」と回答する生徒の割合は改善して目標を達成することができた。また、中学校国語・数学が「わかる」と回答する生徒の割合については、改善傾向が見られた国語・数学ともに目標を達成することができた。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実践のイノベーションにつながる研究の推進 ・若手教員の指導力向上と校内研修の支援
期間	国語 (%)	算数 (%)																																																																																																																								
H25	53.8	55.2																																																																																																																								
H26	55.2	60.6																																																																																																																								
H27	57.8	62.7																																																																																																																								
H28	55.7	63.0																																																																																																																								
H29	60.9	64.6																																																																																																																								
H30	65.6	65.1																																																																																																																								
R1	67.0	65.6																																																																																																																								
R2	62.2	65.6																																																																																																																								
R3	61.5	65.6																																																																																																																								
期間	国語 (%)	数学 (%)																																																																																																																								
H25	55.7	56.2																																																																																																																								
H26	56.2	52.0																																																																																																																								
H27	58.7	52.7																																																																																																																								
H28	57.0	54.1																																																																																																																								
H29	59.1	50.7																																																																																																																								
H30	61.5	49.1																																																																																																																								
R1	56.3	53.8																																																																																																																								
R2	56.3	53.8																																																																																																																								
R3	56.3	53.8																																																																																																																								
期間	国語 (%)	算数 (%)																																																																																																																								
H25	77.3	76.8																																																																																																																								
H26	79.0	79.0																																																																																																																								
H27	78.8	78.4																																																																																																																								
H28	80.7	80.7																																																																																																																								
H29	82.0	84.1																																																																																																																								
H30	84.0	85.8																																																																																																																								
R1	85.1	86.8																																																																																																																								
R2	85.1	86.8																																																																																																																								
R3	85.1	86.8																																																																																																																								
期間	国語 (%)	数学 (%)																																																																																																																								
H25	68.1	68.2																																																																																																																								
H26	69.2	68.5																																																																																																																								
H27	72.5	69.4																																																																																																																								
H28	72.3	67.0																																																																																																																								
H29	73.0	70.6																																																																																																																								
H30	73.5	74.4																																																																																																																								
R1	77.3	74.4																																																																																																																								
R2	80.7	74.4																																																																																																																								
R3	80.7	73.5																																																																																																																								